



あさまる通信

第29号 12月

発行：習志野販売株式会社
〒275-0016
千葉県習志野市津沼5-11-10 吉田ビル3F
TEL 047-454-2355 FAX 047-454-2357
URL http://www.asamaru.com/
e-mail info@asamaru.com

※プレゼントは裏面にあります。



【木版画年賀状講習会】
今季初めて冬の気配が感じられた11月16日(日) 菊田公民館で「木版画年賀状講習会」が行われました。これは菊田公民館のサークル「菊版会」が木版画に親しんでもらおうと20年程前から毎年、会員の方が指導して行っています。菊版会も創立33年を迎えており、先生が教えるという形を取らず皆でワイワイと木版画を楽しんでいらっしやるそうです。
木版画とは色ごとに版を作り、和紙に色を重ねていくことで一つの作品を仕上げるという物です。いわば浮世絵のような物を想像していただくといひでしょう。ただ浮世絵は「商業版画」なのに対し木版画は「創作版画」ということです。発想を自由に、そして風景や草花などジャンルにとらわれず自由に創作するのが楽しいのだそうです。
今回の参加者は41名でした。受付で板1枚、白ハガキ5枚、カーボン紙1枚、トレーシングペーパー2枚、ためし紙5枚を手渡され席に着きました。開始時刻は9時半からでしたが、9時すぎにはほとんどの方が集まり皆さんの創作意欲が伝わってきました。まずは見本の絵を24種類の中から自由に選びます。川田宏会長

の「毎年参加人数が増えて来て嬉し
く思います。見本にとられず好き
なように作って下さい。教えたい人
がてくすねをひいています。怪我の
ないように十分注意して楽しくやり
ましょう。」と挨拶があり、いよいよ
木版画の始まりです。

まず見本をトレーシングペーパー
に鉛筆で写します。それを板にカー
ボン紙を挟み彫る部分だけ転写しま
す。1枚の板を4分割し4版まで彫
れます。この板はシナベニアといっ
て表面が柔らかく彫りやすくなっ
ています。この時に注意しなければな
らないのは、基本となるハガキの角
を合わせるという事です。これをし
ないと後で刷る時に紙がずれて旨く
いきません。参加者の方は定規を使
い慎重にハガキの角を作ります。さ
てこれからの問題です。見本の絵を
気楽に選んだのはいいのですが、色
分けをどうするか思案のしどころと
なります。それにより版を作る順番
や版の枚数が決まります。参加者の
方々は会員の方に助けを求め、下絵
を描いていきました。皆さん子供に
返ったように悩みながらも楽しそう
です。また黙々と作業する人、会員
の方に1つ1つ相談する人と、それ
ぞれでした。下絵が終わりに彫りだす
と一変、手を切らないように慎重に
彫刻刀を進めます。会員の方のアド
バイスや手直しを受け、掘り終わっ
た所でお昼休みです。中にはお昼休



み返上で彫る方などもいらして真剣
そのものです。彫り終わったら製版
です。水を含ませた筆で、印刷面を
濡らします。これはインクの乗りを
良くする為です。インクは水を少な
くし、刷り込むように専用の筆で木
に乗せていきます。1版1版と刷る
うちに自分だけの作品が出来上がり
ます。きれいに刷り上ると「ヤッ
ター」という歓声が上がると無邪
気に喜んでいらっしやいました。皆
さん笑顔で楽しい1日を過ごされ
ようです。参加者の中では毎年いら
している方もいて「12年前の申年の
版がうちにもあるのよ」と嬉しそう
に話して下さいました。また年々道
具が増えていき「増えるだけで使い
こなせない」と笑って話していらっ
しやいました。参
加の動機も子供と
一緒に刷りたいと
か、温かみがあり
いいなどそれぞれ
でした。参加者の
方の言葉で一番印
象的だったのは「自分が作った木版
画で年賀状を送るのが誇らしい」と
いう言葉でした。

馬頭観音

正式には「馬頭観世音」といい、仏教の六観音(千手・聖・馬頭・十一面・准胝・如意輪)の一つで、別名馬頭大士、馬頭明王とも呼ばれています。形は人身馬頭のもの、人頭馬上に馬頭を持つものとの二種類があります。習志野市にも幾つかの馬頭観音があります。これらは民間信仰の一形態で馬の無病息災を祈念するものや、馬と歩む道中の安全を祈ったり、また道半ばで力尽きた馬の冥福を祈ったりといった理由で馬頭観音が作られたのでしょう。当時、馬は農作業の効率化や、作物の運搬などに利用されていたほか、農閑期には東金街道や千葉街道などの街道筋で旅人の荷を運ぶ駄賃稼ぎにも使われていました。馬は昔の人々の生活の中になくしてはならないものでした。そういう馬を愛する心が人々に馬頭観音を作らせたのかもしれない。また馬には周囲の草をむさぼるように食べ水を一気に飲み干すことなどから、あらゆる悪を飲み込んで消滅させたり、人間の煩惱を食べつくして救済するという意味もあるようです。



写真：津沼5丁目の馬頭観音

市内には鷺沼の観音寺前、津沼6丁目、鷺沼3丁目などにわずかながら残っています。

「自分が作った木版画で年賀状を送るのが誇らしい」という言葉でした。



あさまる info

※子育て支援フェスタ
日時 11月30日(日) 午前10時から
会場 谷津公民館2F各室
内容 ①おはなし実技講演会
②おやつ作り体験
③団体ブース出展
④ベビーマッサージ他
プログラムには参加人数に限りがあり、事前予約が必要な有料プログラムもあります。詳しくは下記申込先までお問い合わせ下さい。
申込先 NPO法人 ならしの子ども劇場
電話&FAX 047-451-3676
(月~金 午前9時30分から午後4時30分)

※ちびっこクリスマス会
日時 12月13日(土)
午後1時30分~午後3時
場所 谷津公民館(申込不要)
内容 紙芝居、手品、工作、ふうせんおじさん等
対象 幼児・児童
※クリスマスコンサート(ロビーコンサート)
日時 12月21日(日)
午後2時~午後3時30分
会場 谷津公民館(申込不要)
出演 津沼ユニバーサル交響楽団
フリーマーケットに行こう
※サンプラザ商店街フェスタバザール
楽市フリーマーケット
日時 12月13日(土) 午前8時から
会場 京成線谷津駅北口広場
※ワイがやフリーマーケット
日時 12月14日(日) 午前9時から
会場 京成津沼駅南口ロータリー広場
みなさまからの情報もお待ちしております。

